

広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介

ひのはらの魅力発見！ 弘沢周辺クイズチャレンジ！！

日時 2020年10月～2021年1月
場所 西多摩郡檜原村 弘沢の滝周辺
内容 地域の情報をより多くの人に知ってもらうために10月1日(木)～1月31日(日)の期間でクイズチャレンジを開催します。
 クイズは、「知ってほしいなあクイズ」(10問)と「知ってたらすごいクイズ」(8問)に分かれており、「知ってたらすごいクイズ」は期間中、弘沢の滝入り口バス停や周辺店舗に掲示されるので、探してみてください。
 正解数に応じて、後日弘沢の滝周辺の店舗で使える割引券をお送りします。なお、正解発表は2021年2月以降に行います。
主催 ひのはら魅力発見隊
問合せ NPO法人フジの森内 ひのはら魅力発見隊事務局 担当 佐藤
 TEL:042-598-6928



広域的市民ネットワーク活動等助成対象事業中止のお知らせ

本紙5月号(No.080)9ページで紹介した広域的市民ネットワーク活動等助成対象事業「檜原村お祭り見学会～郷土芸能と保存会の想いに触れる～」(2020年8～9月予定)及び「山のふるさと村音楽祭」(2020年10月18(日)予定)は**中止**となりました。

特定非営利活動法人
東京雑学大学
 ※受講の際は、必ずマスク着用のこと！

2020年11月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	教場
11月5日(木) 14:00から	地球に暮らす —海外のロングステイを日常に—	福永 佳津子 氏 (海外生活カウンセラー (一財)ロングステイ財団政策審議委員)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
11月12日(木) 14:00から	日本の科学技術研究力と国際交流 —コロナ後の世界をみすえて—	小舘 香椎子 氏 (日本女子大学名誉教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
11月19日(木) 14:00から	明治四年 日本初の留学生 —米国へ—	玉川 千里 氏 (元森永製菓(株)取締役・元森永スナック食品(株)社長)	多摩交流センター(第2会議室) (京王線府中駅北口 徒歩3分) ※入場は13:30からです。それ以前のご来場はご遠慮ください。
11月26日(木) 14:00から	今日からデキル認知症予防	山崎 宏 氏 (株)百寿研代表取締役	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

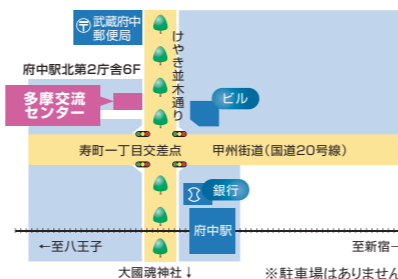
「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
 TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



とっておきフォトスポット 第32回 檜原村

きれいな風景やおもしろいものを見つけたら、写真を撮りたくなるよね。今回は、わたげのボクが「弘沢の滝」と「神戸岩」を紹介するよ。

コロナ禍により掲載を見合わせていた檜原村の回をご紹介します。

東京都内で唯一「日本の滝百選」の 弘沢の滝

@WATAGE



撮影のPOINT! 滝壺にあがる階段下の滝が正面に見える大きな石がベストポイント!

高さが約60mある4段の滝で、古くは滝壺に大蛇が棲むと言われた魅力的で神秘性のある滝だよ。新緑や紅葉シーズンが見頃だけど、冬の結氷した滝も圧巻なんだ。

東京都天然記念物の かのといわ 神戸岩

@WATAGE



撮影のPOINT! 駐車場の先には、神戸岩の全体が見渡せる場所があって、壮大な風景を撮影できるよ。

北秋川の支流である、神戸川上流部の赤井沢を挟んで対峙する大岩壁だよ。右壁の高さが約100m、左壁の高さが約80mあって、紅葉のシーズンが見頃なんだ。岩壁の間を歩くこともできるよ!



【現地案内】

- ◆弘沢の滝
JR 武蔵五日市駅から西東京バス藤倉行きまたは数馬行き「弘沢の滝入口」下車、徒歩約15分
- ◆神戸岩
JR 武蔵五日市駅から西東京バス藤倉行き「神戸岩入口」下車、徒歩約40分

記事・写真 檜原村総務課

編集後記

- 10月に入り、2020年度も折り返しを迎えました。例年、10月号では、当調査会が協賛している「愛らんどリーグ」の視察の様をお伝えしていましたが、今年は、新型コロナの影響で残念ながら中止となりました。「愛らんどリーグ」は、島しょ地域の子供たちがサッカーを通じて、お互いの交流を深めるために毎年8月に島しょ地域で行われる、非常に意義のある大会です。来年は、コロナが終息し、晴天の空の下、父兄からの応援に包まれながら、元気にボールを追いかける子どもたちの姿を見られることを切に願います。
- その他、当調査会が協賛している島のイベントや、支援している市民活動、助成事業の多くが中止や規模縮小となっています。一刻も早くワクチンや特效薬が開発され普通の活動に戻ることを願わずにはられません。
- こうした中、緊急事態宣言解除を受けて、7月から当調査会で取り組んでいる「気候変動への適応策に関する調査研究」は、新しい生活様式を取り入れたうえで実施しています。この調査研究は、2018年度から2020年度にわたり実施しており、都内62市区町村が、それぞれの地域の特性にあった「適応策」の取組や適応計画の策定を目指すための活動を支援することを目的に取り組んでいるものです。
- 今年度は、職員参加の研究会のソーシャルディスタンスはもちろんのこと、適応策に先進的に取り組んでいる自治体への見学会の中止、動画配信やオンラインの併用などの取組を導入して調査研究を行っています。
- コロナ禍の今は、新しい生活様式を取り入れたうえで社会経済活動を行う「ウィズコロナ」の観点から、在宅勤務や仕事の工夫などの働き方改革が求められています。しかし、こうした取組が、コロナ終息後の業務においても有益なのか議論もあるようです。そのため、「気候変動への適応策に関する調査研究」における新たな取組についても、これまでの取組との成果を比較検証し、より効果的な方法を来年度以降の取組に活かしたいと考えています。
- 昨年10月は、地球温暖化の影響も指摘されている「令和元年東日本台風」による豪雨被害が発生し、多摩川の氾濫など甚大な被害が発生しました。ここ10年ほどの台風は、10月以降に上陸する傾向が多くなっており、今年も十分な警戒が必要です。
- また、例年、これから冬にかけインフルエンザ流行期となりますが、今年は、新型コロナウイルスの再拡大も懸念されています。WHOは、インフルエンザの予防接種を呼び掛けていますが、併せてマスクの着用や、手洗い、消毒、うがいを引き続き行うことが重要です。加えて、この時期には、冬に向かい、体を温め、栄養豊かで免疫力を高める効果が期待できるきのこ類や根菜類などが旬を迎えます。感染防止策の徹底と旬の食材を消費する「旬産旬消」を実践し、コロナ禍を乗り切りたいと考えています。(K, K)